

Contents & Schedules

■ STAGE 1	ページ	日付	得点
第1章 動詞・時制	10	月 日	点
第2章 受動態	22	月 日	点
第3章 不定詞	34	月 日	点
◆ 中間テスト	46	月 日	点
■ STAGE 2	ページ	日付	得点
第4章 動名詞	54	月 日	点
第5章 分詞	66	月 日	点
第6章 分詞構文	78	月 日	点
◆ 中間テスト	90	月 日	点
■ STAGE 3	ページ	日付	得点
第7章 関係詞	98	月 日	点
第8章 比較	110	月 日	点
第9章 仮定法	122	月 日	点
第10章 その他	134	月 日	点
◆ 中間テスト	146	月 日	点
口語表現	152	月 日	
単語・熟語リスト	154	月 日	

※問題を解いたあと、日付・得点を記入し、学習の指針などにしてください。

LEVEL-3
STAGE 1
ENGLISH GRAMMAR WORKBOOK
STEP BY STEP

- 第1章 動詞・時制
- 第2章 受動態
- 第3章 不定詞

動詞・時制

▶ 英文法を理解するうえで、一番大切なのが動詞の使い方を理解することです。まずは動詞と時制についてのさまざまなルールを勉強しましょう。

1 自動詞と間違えやすい他動詞

問 At the meeting they started discussing ☐.

- ① about his character ② his character
③ of his character ④ on his character

(桜美林 短大)

動詞には、それ自体で動作が完結している自動詞と、動作の相手となる目的語(名詞)を必ず後ろにとらなければならぬ他動詞があります。他動詞の後ろには、「～を、～に」にあたる目的語(名詞)が必ずこなければならぬので、前置詞が直後に付くことはできません。

discuss は他動詞なので前置詞は必要なく、直接後ろに名詞が続くはずです。例題では② his character が discuss の目的語になっています。

解答⇒2 (訳：その会で、彼らは彼の性格について話し始めた。)

ここでは、自動詞と間違っって前置詞を付けてしまいそうになる他動詞をまとめておきます。頭文字をつなげて、「MEDAMARR (メダマアルアル)」と覚えておきましょう。

<input type="checkbox"/> M	marry	▶ ～と結婚する	<input type="checkbox"/> M	mention	▶ ～を述べる
<input type="checkbox"/> E	enter	▶ ～に入る	<input type="checkbox"/> A	attend	▶ ～に出席する
<input type="checkbox"/> D	discuss	▶ ～を論じ合う	<input type="checkbox"/> R	reach	▶ ～に達する
<input type="checkbox"/> A	approach	▶ ～に近づく	<input type="checkbox"/> R	resemble	▶ ～に似ている

2 まぎらわしい自動詞と他動詞

問 How long have you ☐ in bed?

- ① laid ② lain ③ layed ④ lied

(東北学院大 (経一経))

自動詞と他動詞でつづりと活用がまぎらわしいものに、lie と lay、rise と raise があります。これらのつづりと活用は正確に覚えておきましょう。

ここでは空所の後ろに目的語がありませんから、自動詞である lie (横たわる) の過去分詞形② lain を選びます。

解答⇒2 (訳：あなたはどのくらいベッドに横になっているのですか。)

<input type="checkbox"/> lie	-lay	-lain	-lying	▶ 国 横たわる
<input type="checkbox"/> lay	-laid	-laid	-laying	▶ 国 横たえる
<input type="checkbox"/> lie	-lied	-lied	-lying	▶ 国 うそをつく
<input type="checkbox"/> rise	-rose	-risen	-rising	▶ 国 上がる
<input type="checkbox"/> raise	-raised	-raised	-raising	▶ 国 上げる

3 時・条件の副詞節

問 I'll tell you about it in detail when you ☐ home.

- ① shall come ② came ③ come ④ had come

(関西外国語大短大部)

when から後ろの節は、主節の動詞を修飾する副詞の働きをしています。時や条件(～ならば)を表して副詞の働きをする節の中では、未来のことでも現在形(現在完了形)で表さなければなりません。

この文では、when you come home という節が、tell という動詞を修飾しています。時を表して副詞の働きをする副詞節なので、現在形の③ come が正解。

解答⇒3 (訳：あなたが家に帰って来たときに、それについて詳しく話します。)

■問1：次の英文の空欄に入れるのに最も適当なものを選べ。

□1 I will be back by the time my friend □1 to see me.

- ① comes ② has come
③ will come ④ is coming
[実践女子短大]

□2 I □2 in Kyoto for three years when I was a child.

- ① is living ② have been
③ have lived ④ lived
[東京成徳短大<改>]

◆□3 "Did you find his house?" "Yes. It took us a long time but finally we □3 it."

- ① would find ② could have found
③ were able to find ④ managed find
[南山短大]

◆□4 I'll tell you as soon as he □4 .

- ① comes ② came
③ will come ④ will have come
[南山短大<改>]

□5 □5 to the railway station when I saw you this morning?

- ① Have you gone ② Are you going
③ Were you going ④ Have you been going
[上智短大]

□6 I am sorry to □6 you waiting so long.

- ① be keeping ② have been kept
③ have kept ④ have been keeping
[上智短大]

□1 私は友達が私に会いに来るときまでには戻ります。

□1⇒① comes

▶ by the time S V (SがVするまでに) は時を表す副詞節です。このように、時や条件を表す副詞節の中では、未来のことでも現在形や現在完了形を使わなければなりません。この文では、「来てしまう」という完了の意味はありませんから、② has come ではなく現在形の ① comes を選びましょう。

□2 私は子供の頃京都に3年間住んでいた。

□2⇒④ lived

▶ 時制の問題を考えるときには、基準となる時点がいづなかをとらえることが非常に大切です。ここでは、「私が子供だったとき」とあるので、基準となる時点は過去になります。よって、④ lived という過去形の動詞が正解になります。

□3 「あなたは彼の家を見つめましたか。」「はい。長い時間がかかりましたが、とうとう私たちは見つけることができました。」

□3⇒③ were able to find

▶ 過去に「～することができた」というときには、were[waz] able to V, または managed to V などを使います。ちなみに、manage to V は「なんとかしてVする」という意味です。

□4 彼が来たらすぐにあなたに言うつもりだ。

□4⇒① comes

▶ as soon as S V (SがVするとすぐに) は時を表す副詞節なので、この中では未来形ではなく現在形が現在完了形を使わなければなりません。ここでは現在形を使い、主語が he なので三単現の s を付けて comes とします。

□5 私があなたを今朝見たとき、あなたは鉄道の駅に向かっていましたか。

□5⇒③ Were you going

▶ 基準となる時点をしつかりとらえることが大切。「私があなたを見た」のは過去の一時点です。ですから、選択肢の中から過去進行形の ③ Were you going を選びましょう。

□6 こんなに長い間あなたを待たせてすみません。

□6⇒③ have kept

▶ 「私が申し訳なく思っている」のよりも、「長い間あなたを待たせた」の方が前の時制です。このように、不定詞の時制が述語動詞の時制よりも前のときには、完了不定詞といって、to have Vpp という形を使います。ちなみに、動名詞の時制が1つ過去にずれると、having Vpp (完了動名詞) という形を使います。(→ p.59)

- 7 Ten years ago today I □ 7 in Kenya.
 ① have lived ② was living
 ③ live ④ have living [上智短大<改>]
- ◆ □ 8 If you come at seven o'clock tomorrow night, we □ 8 finished our dinner.
 ① will already ② have already
 ③ will already have ④ had [聖心女子大]
- 9 Nick can speak Portuguese quite well because he □ 9 it for five years in Brazil.
 ① is studying ② has been studied
 ③ would have studied ④ has been studying [英検準2級]
- ※ □ 10 We □ 10 the world situation.
 ① discussed about ② discussed
 ③ discussed over ④ discuss in [北海道文理科大<改>]
- 11 Please □ 11 in the chair.
 ① seat ② be seated
 ③ be seating ④ seating [南山短大<改>]
- 12 If you ask nicely, she will probably □ 12 a piece of cake.
 ① allow you having ② allow you have
 ③ allow that you have ④ allow you to have [上智短大]

- 7 10年前の今日は、私はケニヤに住んでいた。
 □ 7 ⇒ ② was living
 ▶ ten years ago は過去の一時点を明確に表す表現ですから、ここでは過去完了形ではなく、過去進行形の ② was living で表します。live はあまり進行形にしない動詞ですが、「一時的に住んでいる」という意味を表すときは進行形で使うこともあります。

- 8 明日の夜7時に来れば、私たちは夕食をすでに食べ終えているでしょう。
 □ 8 ⇒ ③ will already have
 ▶ 「明日の夜7時」という未来のある時点までに「夕食を食べ終えている」という、未来の一時点までの完了を表しています。よって、未来完了形の will have Vpp という形を使った、③ will already have が答えになります。

- 9 ニックはブラジルで5年間ポルトガル語を学んでいるので、彼はかなり上手にそれを話すことができます。
 □ 9 ⇒ ④ has been studying
 ▶ 基準となる時点は「ニックが上手にポルトガル語を話せる」という現在です。「5年間ブラジルで学んでいる」という現在までの継続ですから、④ has been studying を選ぶこと。② has been studied では受動態になってしまうので×です。

- 10 私たちは世界情勢について話し合った。
 □ 10 ⇒ ② discussed
 ▶ discuss という動詞は他動詞です。他動詞は後に直接目的語をとるので、前置詞は使いません。ここでは、前置詞のない ② discussed が正解になります。

- 11 どうぞ椅子にお掛けください。
 □ 11 ⇒ ② be seated
 ▶ seat (座らせる) は他動詞で、ここでは受動態になっている ② be seated が正解になります。他動詞が受動態で使われる場合は、直後に目的語は不要。ちなみに、このような命令文の主語はもともと you ですが、省略されています。これは会話表現としても重要なので、文ごと暗記しましょう。

- 12 きちんと頼めば、たぶん彼女はあなたにケーキを一切れくれるでしょう。
 □ 12 ⇒ ④ allow you to have
 ▶ allow という動詞は、allow ~ to V (~にVすることを許可する) の形をとる他動詞。この to V は不定詞の名詞的用法 (Vすること) です。このように、動詞の後ろにどのような形がくるのか、前置詞、目的語、準動詞に注意して、しっかりと覚えておく必要があります。

□ 13 He □ 13 me to buy a new car.

- ① suggested ② said
③ prevented ④ advised

〔十文字学園女子短大〕

□ 14 Miss Imai □ 14 her eldest son to look after his brothers.

- ① said ② talked
③ spoke ④ told

〔和洋女子短大〕

□ 15 Will you help □ 15 homework?

- ① my ② me this
③ me making this ④ me with this

〔名古屋女子大〕

□ 16 Any book will □ 16 as long as it is interesting.

- ① bring ② do ③ come ④ read

〔仙台白百合短大〕

□ 17 The wounded man □ 17 in the street for over an hour before the ambulance arrived.

- ① laid ② lay ③ lied ④ lain

〔関西外国語大短大〕

□ 18 Mr. Jones found that he □ 18 his notes at home, and he didn't know what to do.

- ① had been leaving ② was leaving
③ has left ④ had left

〔上智短大〕

□ 13 彼は私に新しい車を買うように助言した。

□ 13 ⇒ ④ advised

▶ 空所の後ろには「目的語＋不定詞」の形がきています。このような形をとる動詞は ④ advised だけです。advise は、advise ～ to V (～に V するように忠告する), または advise Ving (V することを忠告する) などの形で使われます。

□ 14 今井さんは彼女の長男に彼の弟たちの世話をするように言った。

□ 14 ⇒ ④ told

▶ 空所の後ろは「目的語＋不定詞」の形。このような形をとるのは ④ told だけです。tell ～ to V は「～に V するように言う」という意味で使われます。

□ 15 この宿題を手伝ってもらえませんか。

□ 15 ⇒ ④ me with this

▶ help は主に、help ～ (to) V (～が V するのを助ける), また help A with B (A の B を助ける) という形で使われます。これらの形にあてはまるのは、④ me with this だけです。

□ 16 おもしろければどんな本でもかまわない。

□ 16 ⇒ ② do

▶ do という動詞には「する」だけではなく、自動詞で「役に立つ、間に合う、事足りる」のような意味があり、will do という表現でよく使われます。ここでは、as long as S V (S が V する限り) という表現にも注意して、文ごと覚えておきましょう。

□ 17 そのけがをした男性は、救急車が到着するまで1時間以上も道に横たわっていた。

□ 17 ⇒ ② lay

▶ 自動詞の lie (横たわる) と他動詞の lay (横たえる) の理解を試す問題。ここでは、基準となる時点が過去で、空所の後ろに目的語がないので、自動詞の過去形を使います。自動詞の lie の活用は lie-lay-lain なので、答えは ② lay。ちなみに他動詞の lay の活用は、lay-laid-laid となります。

□ 18 ジョーンズ氏は彼のメモを家に置いてきてしまったことに気づいて、どうしてよいかわからなかった。

□ 18 ⇒ ④ had left

▶ 過去よりもっと前のことを表すには、大過去ともいう過去完了形 (had Vpp) を使います。ここでは、「ジョーンズ氏が気づいた」のよりも、「メモを置いてきてしまった」の方がもっと前のことですから、過去完了形の ④ had left が正解。

- 19 I like the design of this dress, but I don't think the color 19 me very well.

① fits ② matches ③ shows ④ suits

[上智短大]

- 20 Some people 20 at least four hours a day watching TV.

① use ② take ③ spend ④ last

[明の星女子短大]

■問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

- 21 Neither of these trains ① go to Kyoto, but I think you can catch

② one that ③ does ④ on the opposite platform.

誤り = 21

[文京女子短大]

- 22 Please promise ① to give me ② a call as soon as you ③ will arrive ④ at the hotel in New York.

誤り = 22

[文京女子短大]

- 23 My grandfather has ① a large collection of rare books, ② some of which ③ have been published about a hundred years ago. I can't imagine how valuable ④ they are.

誤り = 23

[愛知女子短大]

- 19 私はこの洋服のデザインが好きだが、この色が似合うとはあまり思わない。

[19]⇒ ④ suits

▶「合う」という動詞の使い分けの問題。fitは「サイズが適合する」ということ、matchは「物が物に似合う」というときに使われます。また、「物が人に似合う」というときは、suitやbecomeを使わなければなりません。ここでは、「色が私に似合う」という文脈なので、④ suitsが正解。

- 20 少なくとも1日につき4時間をテレビを見るのに費やす人もいる。

[20]⇒ ③ spend

▶ここでは、空所の後ろに時間、そしてing形(watching)が置かれています。このような形をとるのは③ spendです。spendは、spend 時間(in) Ving(Vとして時間を過ごす)という形で使われます。意味的にも「人が時間を費やす」という意味をもつ単語は、ここではspendしかありません。

- 21 これらの電車はどちらも京都には行きませんが、反対側のホームで京都行きの電車に乗ることができると思いますよ。

[21]⇒ ① go to → goes to

▶ neitherやeitherが主語として使われる場合には、1つ1つの要素(ここでは1台の電車)に注目しているので単数と判断します。誤った表現は3人称単数のsが必要な① go toで、goes toに訂正しなければなりません。

- 22 ニューヨークのホテルに着いたらすぐに私に電話をすると約束してください。

[22]⇒ ③ will arrive → arrive

▶ as soon as S Vは時を表す副詞節なので、現在形や現在完了形を使わなければなりません。この文ではwill arriveという未来形が使われているので、③ will arriveを現在形のarriveに訂正しましょう。

- 23 私の祖父は珍しい本をたくさん収集しており、その何冊かは約100年前に発行されている。それらはどれくらい価値があるのか私には想像できない。

[23]⇒ ③ have been → were

▶ a hundred years ago, yesterday, last nightなどのような、過去の一時点を明確に表す言葉と共に、現在完了形を使うことはできません。よって、現在完了形の③ have been publishedをwere publishedという過去形にしなければなりません。

■問3：日本語に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ，空欄に入るものを選び。

- 24 この計画でやるとずいぶん費用が節約できます。

□24 _____ □25 _____
 ① you ② expense ③ save ④ a lot of
 ⑤ this plan ⑥ will

〔賢明女子学院短大〕

- 25 会いに来てくれて本当にありがとう。

★類 “Thank you _____ □26 _____ □27 _____ ”
 ① to ② coming ③ see ④ for
 ⑤ much ⑥ me ⑦ very

〔駒澤大（経一経）〕

- 26 お済みになったらそれを私に渡してください。

□28 _____ □29 _____ it.
 ① when ② pass ③ you ④ done
 ⑤ to me ⑥ are ⑦ it ⑧ with

〔龍谷大<改>〕

- 27 さつきから私の話を黙って聞いていた少女たちがどっと笑いだした。

The girls _____ □30 _____ □31 _____ silently burst
 out laughing.
 ① been ② me ③ who ④ listening
 ⑤ had ⑥ to

〔桜美林短大<改>〕

- ◆難 □28 あなたが深夜番組を見ているから私たちが眠れないでいるのを，あなたは
 わからないよ。

I'm sure you _____ □32 _____ □33 _____
 watch the late TV programs.
 ① when ② us ③ that ④ don't
 ⑤ you ⑥ realize ⑦ awake ⑧ you keep

〔成城短大〕

- 24 This plan will save you a lot of expense.

□24 ⇒ ③ □25 ⇒ ④ (5-6-3-1-4-2)
 ▶「この計画でやると」という，書き出しの副詞的な表現に注意。「雨のせいで」，「～を見ると」などのように，日本語が副詞的表現の場合には，無生物主語構文の可能性が高いです。この場合も，save A B (AのBを省く) という構文を使って，無生物主語構文で並べてみましょう。

- 25 “Thank you very much for coming to see me.”

□26 ⇒ ⑤ □27 ⇒ ② (7-5-4-2-1-3-6)
 ▶ thank という動詞は，thank A for B (BのことをAに感謝する) という形で使われます。ここでは，for の後ろに動名詞を使って並べ替えましょう。

- 26 Pass it to me when you are done with it.

□28 ⇒ ⑤ □29 ⇒ ⑥ (2-7-5-1-3-6-4-8)
 ▶ pass という動詞は，pass A B もしくは，pass B to A という形で，「BをAに渡す」という意味で使います。when 以下の部分は，意味的には未来のことですが，時を表す副詞節中なので，未来形の代わりに現在形が使われています。be done with ～は「～を終える」という意味の熟語です。

- 27 The girls who had been listening to me silently burst out laughing.

□30 ⇒ ⑤ □31 ⇒ ④ (3-5-1-4-6-2)
 ▶ 日本語から推測して，述語動詞の burst は過去形だと考えられます。ですから，「少女たちが話を聞いていた」のは，過去よりもっと前から過去までのことです。過去までの継続を表す過去完了進行形 (had been Ving) を使って，who から後ろの部分を作成しなければならぬことに注意しましょう。

- 28 I'm sure you don't realize that you keep us awake when you watch the late TV programs.

□32 ⇒ ⑥ □33 ⇒ ⑦ (4-6-3-8-2-7-1-5)
 ▶ ここでは，realize that S V (SがVするのがわかる)，keep O C (OをCの状態で保つ)，という動詞の使い方に気をつけて並べること。また，when S V (SがVするとき) という接続詞をどこで使うのかを，すばやく見抜くことが重要です。

受動態

▶ どのような英文でも受動態にできるわけではなく、受動態にできる英文は必ず**目的語**を持っていなければなりません。その目的語を前に出して主語にすることによって、受動態の英文を作ることができるのです。

1 受動態の基本形

問 The patient ☐ enough medicine to bring about a complete recovery.

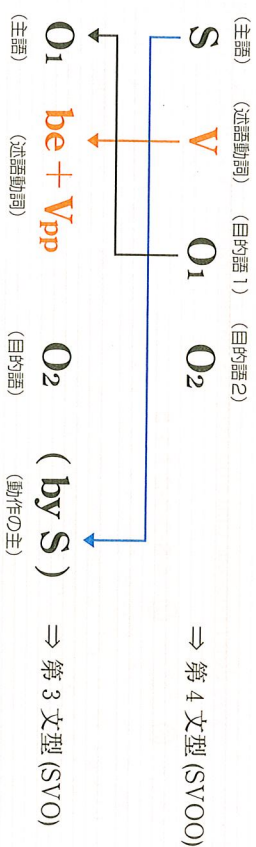
- ① gave ② gives ③ was given ④ was giving

〔京都産業大 (経・理・工・外)〕

例題は、第4文型の目的語のうち1つが前に出た、受動態の形になっています。「～される」という受動態は「**be動詞 Vpp**」の形で表されるので、③ was given が答えになります。

解答⇒3 (訳：その患者は完全に回復するのに十分な薬を与えられた。)

第4文型の受動態



2 群他動詞の受動態

問 On his way home, Taro was ☐ a stranger.

- ① spoken at ② spoken to by
③ spoken by ④ spoken with by

〔千葉工業大〕

後ろの文はもともと、A stranger spoke to Taro. だったので。この問題の speak to のように、「自動詞 + 前置詞」は1つの他動詞の働きをすることができま。ですから、前置詞の後ろの目的語にあたる名詞を主語にして、受動態を作ることのできるわけです。

その場合、この to などの前置詞を勝手に省かないように注意しましょう。行為者を示す **by** という前置詞を使って② spoken to by が答えになります。

解答⇒2 (訳：帰り道に、タロウは見知らぬ人に話しかけられた。)

3 受動態の進行形

問 A: What have you done with your car?

B: I had some engine trouble yesterday, so it is ☐ at the moment.

- ① being repaired ② having been repaired
③ having repaired ④ repaired

〔慶應大 (経)〕

受動態の進行形は、「**be動詞 being Vpp**」という形で表すことができます。ここでは① being repaired が正解になります。

☐ be動詞 being Vpp ▶ 受動態の進行形

解答⇒1 (訳：A：あなたの車はどうしたの。)

B：昨日エンジンがおかしかったから、ちょうど今修理中なんだ。)

■問1：次の英文の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

□1 This hotel is □1 by his father.

- ① control ② managed
③ ran ④ taken care

[東京経済大短大部]

□2 I am often □2 that I look like my elder sister.

- ① said ② talked ③ told ④ spoken

[上智短大]

□3 Mary is □3 to have been ill last week, but she looks well now.

- ① saying ② said ③ told ④ made

[英検準2級]

□4 Please don't sit on the bench. It □4 just ten minutes ago.

- ① was painted ② has painted
③ had painted ④ had been painted

[英検準2級]

□5 The children □5 to drink anything on the table except for the wine.

- ① allow ② allowed
③ are allowed ④ have allowed

[京都産業大]

□6 People made use of paper long before printing □6 .

- ① invents ② invented
③ was invented ④ was inventing

[京都産業大]

□1 このホテルは彼の父によって経営されている。

□1⇒② managed

▶受動態は「be動詞＋Vpp (過去分詞)」というルールにしたがって過去分詞を選ぶこと。manage も run も「経営する」という意味の動詞ですが、manage の活用は manage-managed-managed で、run の活用は run-ran-run です。よって② managed が正解になります。

□2 私はしばしば姉に似ていると言われます。

□2⇒③ told

▶「Tell 人 that S V」という形が受動態になると、「人 be told that S V」という形になります。選択肢の中でこの形をとるのは、③ told だけ。他の3つは人を目的語の位置に置くことはできず、say to me のように前に前置詞が必要です。

□3 メアリーは先週病気だったそうだが、今ではもうよくなったようだ。

□3⇒② said

▶be said to Vは「Vすると言われている」の意味。ここでは「病気だった」のは前の時制ですから、完了不定詞のto have Vppの形が使われていることにも注意すること。この文は、It is said that Mary was ill last week, と言い換えることができます。

□4 どうかそのベンチに座らないでください。それはほんの10分前に塗装されたばかりなのです。

□4⇒① was painted

▶just ten minutes agoは、明確に過去の一時点を表す表現ですから、現在完了形は使いません。ここでは、受動態で過去形の① was painted が答え。

□5 子供たちはワインを除けばテーブルの上のものを何でも飲むことを許されている。

□5⇒③ are allowed

▶allow ～to V (～がVするのを許す) という構文を受動態にすると、～be allowed to Vとなります。

□6 印刷技術が発明されたよりずっと前にも人々は紙を利用していた。

□6⇒③ was invented

▶常識的に考えて、印刷が発明されたのは過去のこと。そして印刷は「発明される」方なので、当然受動態でなければなりません。正解は③ was invented。

- 7 The hotel is □ 7 in the fashionable area and within easy reach of the subway station.

① stood ② seen ③ put ④ situated

〔札幌大女子短大部<改>〕

- 8 We will move into our new house next month if it □ 8 by then.

① complete ② is completed
③ completed ④ will be completed

〔関西外国語短大〕

- 9 Sunglasses □ 9 in many different colors, shapes, and strengths.

① take part ② circulate
③ can be found ④ are discovered

〔京都外国語短大部〕

- 10 According to observers from the United Nations, the new peace agreement □ 10 by both countries.

① has been upheld ② is upholding
③ has been upholding ④ has upheld

〔英検2級〕

- 11 We are spoken □ 11 Americans on our campus.

① by ② to ③ by to ④ to by

〔日本工業大(機械・電気電子)〕

- 12 The girl was □ 12 .

① looked by John ② looked at John
③ looked at by John ④ looked John

〔獨協大(外)〕

- 7 そのホテルは流行の地域に位置していて地下鉄の便もいい。

□ 7 ⇒ ④ situated

▶ situate は「場所を定める」という意味の他動詞。建物などが位置しているというときには、この動詞を受動態にして表現します。②・③の選択肢は意味的に不可。また、stand は自動詞なので受動態にはできません。

- 8 もしそれまでに完成されていたら、私たちは来月に私たちの新しい家に引っ越すだろう。

□ 8 ⇒ ② is completed

▶ complete は「仕上げる」という意味の他動詞。if節の中の it は家を指すから、「家は仕上げられる」と考えて受動態にします。もちろん if S V(S が V するならば) は条件を表す副詞節ですから、現在形もしくは現在完了形でなければなりません。

- 9 サンングラスには、さまざまな色や形や強度のものがある。

□ 9 ⇒ ③ can be found

▶ お店などでは、さまざまな色や形のサンングラスが「(客に)見つけられる」と考えて、受動態の ③ can be found が正解です。もちろん、助動詞 can などの後ろは動詞の原形がきますから、助動詞 be Vpp の形で受動態を作らなければなりません。circulate (循環する、広まる) や discover (発見する) は、意味的に不自然です。

- 10 国連からの監視員によれば、新しい平和協定は両国に支持されている。

□ 10 ⇒ ① has been upheld

▶ uphold は、uphold-upheld-upheld と活用する「支持する」という意味の他動詞。ここでは主語の平和協定は「支持される」わけですから、受動態の形を選ばなければなりません。完了形の受動態は、have(has) been Vpp という形で表現しますから、① has been upheld が正解です。

- 11 私たちは大学のキャンパスでアメリカ人に話しかけられる。

□ 11 ⇒ ④ to by

▶ この文を能動態にすると、Americans speak to us on our campus. となります。speak to のように自動詞と前置詞で1つの他動詞を作っている群他動詞は、受動態にしても be spoken to となり、to を省略しません。さらに動作の主を示す前置詞 by を加えると ④ to by と2つ前置詞が続きますが、これは正しい表現です。

- 12 その女の子は、ジョンに見られた。

□ 12 ⇒ ③ looked at by John

▶ look at は2語で他動詞の働きをする群他動詞で、これを受動態にしたときは be looked at という形になりますが、この at という前置詞を省略してはいけません。動作の主を示す by という前置詞が後ろにくると、be looked at by ～ となりますが、これは正しい表現です。

□ 13 Mr. Ellis is quick to make good decisions, and that's why he is

□ 13 his colleagues.

① looking up to by

③ looked up to

② looked by up to

④ looked up to by

[英検 2 級]

□ 14 He was □ 14 by his son's behavior.

① angry

② embarrassed

③ nervous

④ impatient

[明の星女子短大]

□ 15 Yesterday, Tom □ 15 in a motorbike accident, so he can't attend gym class for the time being.

① had been injured

② was injuring

③ injured

④ was injured

[英検準 2 級]

□ 16 I was made □ 16 for a long time.

① wait

② to wait

③ waiting

④ waited

[千葉工大 (機械・工化)]

□ 17 She was seen □ 17 out of the hall.

① go

② gone

③ to go

④ having gone

[龍谷大 (文・理 I)]

□ 18 Don't let any trees around here □ 18 .

① cut down

② to cut down

③ cutting down

④ be cut down

[東横学園女子短大]

□ 13 エリス氏はすばやくよい決断をし、そのことから彼は同僚に尊敬されている。

□ 13 ⇒ ④ looked up to by

▶ look up to ~ (〜を尊敬する) のように、複数の単語がまとまって 1 つの他動詞を作っているものを受動態にしたときには、それらの要素を省略してはいけないうので注意。さらに動作の主を示す by という前置詞を加えて、④ looked up to by が正解になります。

□ 14 彼は息子の行動に困惑した。

□ 14 ⇒ ② embarrassed

▶ embarrass は「まどつかせる」という意味の他動詞。ここでは彼は息子の行動によって「まどつかされた」、つまり恥ずかしい思いをさせられたということで ② embarrassed が正解です。angry などの形容詞は、動作の主を示す by という前置詞を後ろにとることはないので気をつけましょう。

□ 15 昨日トムはバイク事故でけがをしたので、当分の間体育の授業に出席できない。

□ 15 ⇒ ④ was injured

▶ injure は、「けがをさせる」という意味の他動詞。主語のトムは「けがをさせられた」わけですから、受動態の ④ was injured が正解です。①のように過去完了形を使う必然性は、この文ではありません。

□ 16 私は長い間待たされた。

□ 16 ⇒ ② to wait

▶ make という動詞を「させる」という意味で使うときは、make ~ V というように、後ろに目的語と原形動詞 (= 原形不定詞) をとります。このような原形不定詞を使った構文を受動態で使うときは、be made to V のように to を使って表現しなければなりません。正解は ② to wait。

□ 17 彼女はホールから出るのを見られた。

□ 17 ⇒ ③ to go

▶ see という動詞は知覚動詞なので、能動態では see ~ V のように原形不定詞を使って表現します。このような原形不定詞を使った構文を受動態で使うときは、be seen to V のように to を使って表現します。

□ 18 このあたりの木を切り倒してはいけません。

□ 18 ⇒ ④ be cut down

▶ let という動詞は、let ~ V のように、後ろに「目的語 + 原形不定詞」をとります。ここでは、このあたりの木は「切られる」方なので、この V の部分に受動態の形がこなければなりません。原形かつ受動態のものを選べばよいので、④ be cut down が正解。この文は、Don't cut down any trees around here. という命令文の受動態です。

□ 19 I would like the room □ 19 by tomorrow.

- ① to sweep ② to be swept
③ be swept ④ being swept

〔金蘭短大〕

□ 20 Leaving clean air and water for future generations is something

- 20 by all people.
① to desire ② to desiring
③ to be desired ④ to have desired

〔英検2級〕

■ 問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

□ 21 A significant part of most people's lives ① is spent ② at work and
③ few of us are unaffected ④ on the jobs we have.

誤り = □ 21

〔南山短大〕

□ 22 Don't worry about the children ① while you ② are away; they'll be
③ taking good care ④ of.

誤り = □ 22

〔桜美林大（総）〕

□ 23 If my wife ① calls, ② just tell her I'm ③ in an important meeting and
④ cannot disturb.

誤り = □ 23

〔学習院女子短大〕

□ 19 私はその部屋を明日までに掃除してほしいのだが。

□ 19 ⇒ ② to be swept

▶ これは would like ~ to V (～にVしてほしい) の構文です。もちろん to の後は原形動詞ですが、ここでは部屋は「掃かれる」ので、to の後ろには原形か受動態がなければなりません。よって、② to be swept が正解です。

□ 20 将来の世代のために空気と水をきれいに保つことは、すべての人々によって望まれていることだ。

□ 20 ⇒ ③ to be desired

▶ something を修飾する形容詞的用法の不定詞の大意を考えてみる。ここでは something は「望まれる」わけですから、不定詞は受動態でなければなりません。正解は ③ to be desired です。

□ 21 大部分の人の生活の重要な部分は仕事に費やされており、私たちの中で就いている職業に影響されない人はほとんどいない。

□ 21 ⇒ ④ on → by

▶ 受動態の後ろで行為の主を示すときには、by という前置詞を使わなければなりません。ここでは on という前置詞を by に訂正します。ただし、be surprised at のように by 以外の前置詞を使うパターンもあるので気をつけましょう。

□ 22 あなたが出かけている間、子供たちの心配はしないで。彼らはきちんと世話をしてもらえましょう。

□ 22 ⇒ ③ taking → taken

▶ この文での they は子供たちを指しています。子供たちは「世話をされる」方ですから、受動態でなければなりません。be動詞の後ろの taking を過去分詞形の taken に訂正する必要があります。

□ 23 私の妻から電話があったら、大切な会議中だから取り次ぐことはできませんとだけ伝えてください。

□ 23 ⇒ ④ disturb → be disturbed

▶ 私は「邪魔されることができない」方ですから、cannot の後ろの disturb (邪魔をする) を受動態の be disturbed に訂正しなければなりません。

■問3：日本文に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ，空欄に入るものを選び。

□24 昨日の地震でだいぶ被害があったようだ。

- It seems 24 25 .
 ① yesterday's ② damage ③ done ④ much
 ⑤ earthquake ⑥ that ⑦ was ⑧ by

[立命館大 (理工)]

□25 先生はジャックのエッセイに満足した。(1語不要)

- The teacher 26 27 .
 ① Jack's ② pleased ③ essay ④ with
 ⑤ was ⑥ to please

[摂南大 (工)]

□26 その噂は真実でないように思えた。

- The 28 29 .
 ① be ② felt ③ rumor ④ to
 ⑤ untrue ⑥ was

[東北学院大 (経一経)]

□27 英語は国際語で世界中で話されています。

- English 30 31 all over the world.
 ① international ② spoken ③ an ④ is
 ⑤ and ⑥ is ⑦ language

[東京国際大 (商)]

□28 世界のほとんどの主要都市では，男性客は高級レストランに入るときネクタイの着用が求められる。

- In almost every major city in the world, male 32
33 high-class restaurants.
 ① are ② customers ③ required ④ they enter
 ⑤ ties ⑥ to wear ⑦ when

[センター試験]

□24 It seems that much damage was done by yesterday's earthquake.

[24] ⇒ ② [25] ⇒ ③ (6-4-2-7-3-8-1-5)

▶ ここで，It seems that S V (SがVするように思える) という構文のS Vの部分に受動態を使って表現してみること。「害を与える」は，do damage という表現で表すことができます。これを受動態にして damage was done と並べましょう。

□25 The teacher was pleased with Jack's essay.

[26] ⇒ ② [27] ⇒ ① (5-2-4-1-3) 不要=⑥ to please

▶ ここでこの please は「喜ばせる」という意味の他動詞として使います。先生は「喜ばされた」わけですから，受動態を使って表現しましょう。ここでは byではなくて with を使うことに特に注意。be pleased with ～で「～に満足している」という意味です。

□26 The rumor was felt to be untrue.

[28] ⇒ ② [29] ⇒ ① (3-6-2-4-1-5)

▶ feel O to be C は「OがCであると感じる」という意味。これを受動態にするとき O be felt to be C という形になります。この形に忠実に並べて正解を探りましょう。

□27 English is an international language and is spoken all over the world.

[30] ⇒ ① [31] ⇒ ⑤ (4(6)-3-1-7-5-6(4)-2)

▶ この文の主語にあたる英語は「話される」わけですから，受動態の is spoken という形を使わなければなりません。動作の主を示す by ～という部分は，わかりきっていて必要ないので省略されています。

□28 In almost every major city in the world, male customers are required to wear ties when they enter high-class restaurants.

[32] ⇒ ③ [33] ⇒ ⑦ (2-1-3-6-5-7-4)

▶ ここで，require ～ to V (～がVすることを要求する) という構文の受動態にして，～ be required to V (～はVすることを要求される) という形を使って表現してみること。また，when S V (SがVするとき) という接続詞の使い方にも注意しましょう。

不定詞

▶ 不定詞とは「to + 動詞の原形」という形のこと、名詞的、形容詞的、副詞的に使うことができます。この3用法の区別を基本に、不定詞を理解していきましょう。本書では、不定詞は「to V」という記号で表しています。

1 不定詞の基本用法

問 After a long walk in the fields I got thirsty and wanted .

① cold something to drink ② to something drink cold
③ something to drink cold ④ something cold to drink

(金剛短大)

ここでは something という名詞を、to drink という不定詞が後ろから修飾しています。つまり、この不定詞は「形容詞的用法」で使われています。something などの「-thing」で終わる名詞は、形容詞が直後にくることに注意しましょう。

解答⇒ 4 (訳：野原を長時間歩いたあと、私はのどが渇いたので何か冷たい飲み物が欲しかった。)

2 形式主語

問 I think to finish this job before dark.

① I am impossible ② I find it unable
③ I am beyond my power ④ it is impossible for me

(金剛短大)

主語の部分には基本的に名詞がきますので、名詞的用法の不定詞を置くこともできます。ただこの問題のように、主語にあたる不定詞が長くなって不格好な場合には、主語の部分に目印の it を置いて、不定詞を後回しにすることができます。

の目印の it のことを形式主語といいます。

解答⇒ 4 (訳：暗くなる前にこの仕事を終えることは、私には不可能だと思う。)

3 動詞 + O + to V

問 Englishmen will never be slaves: they are free to do whatever the Government and public opinion .

① allow them doing ② allow for them to do
③ allowing that they do ④ allow them to do

(同志社大 (文))

allow という動詞は、後ろに「目的語(O) + 不定詞(to V)」の形をとります。この形では目的語と不定詞の間に、主語と述語の関係(O が V する)が表れることも覚えておきましょう。

解答⇒ 4 (訳：イギリス人は、決して奴隷になることはない。彼らは政府や世論が許すことなら何でも自由にすることができるのだ。)

「目的語と to 不定詞」をとる重要な形

- | | |
|------------------------------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> want ~ to V | ▶ ~にVしてほしい |
| <input type="checkbox"/> tell ~ to V | ▶ ~にVするように言う |
| <input type="checkbox"/> ask ~ to V | ▶ ~にVしてくれと頼む |
| <input type="checkbox"/> get ~ to V | ▶ ~にVしてもらう [させる] |
| <input type="checkbox"/> allow ~ to V | ▶ ~がVするのを許す |
| <input type="checkbox"/> force ~ to V | ▶ ~に無理やりVさせる |
| <input type="checkbox"/> = compel ~ to V | |
| <input type="checkbox"/> = oblige ~ to V | |

■問1：次の英文の空欄に入れるのに最も適当なものを選ぶ。

□1 I was about to □1 when the telephone rang.

- ① leave ② leaves ③ leaving ④ left

[小樽女子短大]

□2 I am glad □2 whenever you need me.

- ① helping you ② of helping you
③ to have helped you ④ to help you

[センター試験(追)]

□3 She determined □3 the offer.

- ① accepting ② to accept
③ accept ④ accepted

[北海道文理科短大<改>]

□4 If you have a problem, please don't hesitate □4 .

- ① to have asked ② asking
③ ask ④ to ask

[南山短大]

□5 I tried hard □5 .

- ① do not laugh ② not to laugh
③ to laugh not ④ to not laugh

[大阪学院大(経)]

□6 Please remember □6 when I am away.

- ① feeding the goldfish every third day
② to feed the goldfish every three days
③ to feed the goldfish every other days
④ feeding the goldfish every second day

[神戸松蔭女子学院短大]

□1 電話が鳴ったとき、私はまさに出かけようとしていた。

- 1⇒① leave
▶ be about to Vは「今にもVしようとしている」という意味の熟語表現で, be on the point of Vingとも書き換えることができます。

□2 必要などきはいつでも喜んでお手伝いします。

- 2⇒④ to help you
▶ be glad to Vは「Vして嬉しい」という意味の表現。この不定詞は、ある感情になった理由を表す副詞的用法の不定詞です。

□3 彼女はあの申し出を受け入れることを決めた。

- 3⇒② to accept
▶ determine to Vは「Vすると決心する」という意味。他に decide to Vや make up one's mind to Vも同義の熟語として重要なので覚えておきましょう。

□4 あなたにもし困ったことがあったら、どうぞためらわず聞いてください。

- 4⇒④ to ask
▶ hesitate to Vは「Vするのをためらう」という意味。これは hesitate という自動詞に続く副詞的用法の不定詞ですが、熟語として覚えておきましょう。

□5 私は笑わないように努力した。

- 5⇒② not to laugh
▶ 不定詞を否定形にする場合には、不定詞の直前に not や never などの否定語を置いて, [never] to V という形にします。よって、ここでは ② not to laugh が正解です。

□6 私の留守中、金魚に3日ごとに餌をやるのを忘れないでください。

- 6⇒② to feed the goldfish every three days
▶ remember は、後ろが不定詞か動名詞かで意味が変わります。remember to Vは「忘れずにVする」、remember Vingは「Vしたのを覚えている」という意味になります。「3日ごとに餌をやる」という未来的な意味を正しく表した②が正解。③は every other day (1日おきに) の day に複数形の s が付いてしまっているのが不可です。

□ 7 The doctor told her □ 7 because of her health.

- ① not smoking ② to quit from smoking
③ quitting smoking ④ to quit smoking

[金蘭短大]

□ 8 I had to take a taxi because a heavy rain caused all the trains □ 8 .

- ① stop ② to stop
③ be stopped ④ stopped

[英検準2級]

□ 9 He would like you □ 9 me what happened.

- ① tell ② telling
③ to tell ④ told

[東海大(海洋・健康)]

□ 10 Ken was very foolish □ 10 out in this storm.

- ① go ② to going
③ of going ④ to go

[四天王寺国際仏教大]

□ 11 The last person □ 11 will have to turn out the lights.

- ① who leave ② for leaving
③ to be left ④ to leave

[桃山学院大]

□ 12 He survived the operation □ 12 to die of pneumonia.

- ① until ② only ③ so as ④ but

[南山短大]

□ 7 医者は健康のためにたばこをやめなさいと彼女に言った。

□ 7 ⇒ ④ to quit smoking

▶ tell ～ to V は「～に V するように言う」という意味をもった構文。「たばこをやめる」は, quit という他動詞の後ろに動名詞の smoking という目的語を直接置いた quit smoking が適切なので, ④ to quit smoking が正解です。

□ 8 激しい雨のためにすべての電車が止まってしまったので, 私はタクシーに乗りたければならなかった。

□ 8 ⇒ ② to stop

▶ cause ～ to V は「～に V させる」という意味で, ここでは ② to stop が正解。caused 以下は, 「made all the trains stop」とも表現できます。この場合は stop の前に to は付きません。

□ 9 彼は起こったことをあなたから私に話してもらいたがっている。

□ 9 ⇒ ③ to tell

▶ would like ～ to V は「～に V してほしい」という意味で, want ～ to V より丁寧な表現です。ここでは ③ to tell が正しい形。

□ 10 この嵐の中出ていくなんてケンはとても馬鹿だった。

□ 10 ⇒ ④ to go

▶ 不定詞の副詞的用法は「V するなんて……」の意味で, 「判断の根拠」を表すこともできます。このように, 不定詞の副詞的用法には多彩な意味があることに注意してください。

□ 11 最後に出る人がライトを消さなければならない。

□ 11 ⇒ ④ to leave

▶ 形容詞的用法の不定詞は, 未来的な意味合いをもっています。ここでの正解は ④ to leave ですが, これを関係代名詞を用いて who will leave に書き換えることもできます。① who leave のように現在形を使うときは, leaves と三単現の s が必要です。

□ 12 彼は手術を生き抜いたが, 結局肺炎で死んだ。

□ 12 ⇒ ② only

▶ 副詞的用法の不定詞は, 結果を表して「そして V する」という意味で使われることがあります。ここでは …… only to V の形で「……そして結局 V する」という結果の不定詞の重要表現が問われています。答えは ② only。また …… never to V (……そして結局 V しない) という表現もよく覚えておきましょう。

□ 13 Your luggage looks so heavy. I'll have my son □ 13 it.

難

- ① carries ② carry ③ to carry ④ carried

[金蘭短大]

□ 14 There is heavy traffic on this street. Don't let your children □ 14 here.

- ① playing ② to playing
③ play ④ to play

[英検準2級]

□ 15 It was interesting □ 15 the article about how we had shined in Japan in the first century.

弱

- ① to read ② in reading
③ of reading ④ with reading

[英検2級]

□ 16 It is natural □ 16 babies to cry when they are hungry.

- ① when ② that ③ for ④ some

[桜美林大 (経 - 経)]

□ 17 The translator found it impossible □ 17 what he meant.

- ① explain ② to explain
③ to be explained ④ have explained

[京都産業大 (理)]

□ 18 Excuse me, could you tell me □ 18 the University Hospital?

- ① the way of ② how to arrive
③ where to go ④ how to get to

[名城大 (商)]

□ 13 あなたの荷物はとても重そうですね。息子に持たせましょう。

□ 13 ⇒ ② carry

▶ have という使役動詞の後ろには、have ~ V という形で原形不定詞がくることができます。have ~ V は「〜に V させる」、「〜に V してもらう」という使役・依頼の意味があります。なお、make ~ V は「〜に V させる」という強い強制の意味をもつので、しっかりと区別しておきましょう。

□ 14 この通りは交通量が多い。ここであなたの子供たちを遊ばせるな。

□ 14 ⇒ ③ play

▶ let ~ V という原形不定詞を使った表現は、許可を表して「〜に V させてやる」という意味になります。2 つめの文は、「Don't allow your children to play here.」とほぼ同じ意味です。

□ 15 1 世紀の日本にどのようにして神社ができたのかに関する記事を読むのは興味深いことだった。

□ 15 ⇒ ① to read

▶ 形式主語の it が名詞的用法の不定詞を指している形式主語構文。it is ... (for ~) to V で「(〜が) V するのは...だ」という形で使われます。ここでは名詞的用法の不定詞 ① to read が正解。

□ 16 赤ちゃんがお腹が減ったときに泣くのは当然だ。

□ 16 ⇒ ③ for

▶ 不定詞の意味の上での主語を表すためには、for という前置詞を使って for ~ to V の形を使います。It は形式主語で、for 以下を受けています。It is natural that babies cry when they are hungry. のように、that 節を使っても表現できます。

□ 17 翻訳家は彼が言おうとしていることを説明するのは不可能だと気づいた。

□ 17 ⇒ ② to explain

▶ find O C (O が C だとわかる) などの第 5 文型の動詞では、O の部分に不定詞などを置くことはできないので、とりあえずこれを it に肩代わりさせて不定詞などを後回しにすることができます。これが形式目的語の構文です。ここでは本来の目的語の ② to explain が後回しにされています。

□ 18 すみませんが、大学病院への行き方を教えてくださいませんか。

□ 18 ⇒ ④ how to get to

▶ 「疑問詞 + 不定詞」は名詞句を作ることができます。ここでは、tell A B (A に B を教える) という構文の B の部分にこの形がきています。「到着する」は、arrive at ~, reach ~, get to ~ のような表現方法がありますが、これにあてはまるのは ④ how to get to だけです。

□ 19 He came in quietly [19] not to wake the baby.

難

- ① as if ② such ③ if so ④ so as

〔札幌大女子短大部〕

□ 20 George had no alternative but [20] as his friends suggested.

- ① to do ② done
③ have to do ④ having done

〔英検2級〕

■ 問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

□ 21 Modern technology has ① enabled us ② hearing many ③ varieties of music at ④ the turn of a dial.

誤り = [21]

〔南山短大〕

□ 22 I'm not planning to ② go abroad ③ this summer, because I can't afford ④ spending so much money.

誤り = [22]

〔桃山学院大〕

□ 23 I have ① so much ② homework tonight I'm not going to have ③ any time to ④ watching TV.

誤り = [23]

〔学習院女子短大〕

□ 19 彼は赤ちゃんを起こさないように静かに入ってきた。

[19] ⇒ ④ so as

▶ so as to V や in order to V は、「V するために」という意味の目的を表す不定詞の慣用表現。これらを否定の形にすると so as not to V や in order not to V という形になります。to V の直前に not が入ることに注意しましょう。

□ 20 ジョーは友達のを勧めるようにするしかなかった。

[20] ⇒ ① to do

▶ have no choice but to V または have no alternative but to V という表現は「V せざるを得ない」という意味の重要表現。but には「～以外」という意味があるので、この表現のもととこの意味は「V する以外選択はない」となります。

□ 21 近代の科学技術のおかげで、私たちはダイヤルを回せばすぐに多くの種類の音楽を聴くことができるようになった。

[21] ⇒ ② hearing → to hear

▶ enable という動詞は、enable ～ to V という形で、目的語の後ろに不定詞をとって「～が V するのを可能にする」という意味になります。ここでは、hearing を to hear に訂正しましょう。

□ 22 私はこの夏、海外へ行く計画を立てていない。なぜならそんなにたくさんのお金をかける余裕がないからだ。

[22] ⇒ ④ spending → to spend

▶ afford という他動詞は、目的語に to 不定詞をとった afford to V の形で「V する余裕がある」という意味になります。ここでは、spending を to spend に訂正しましょう。

□ 23 今夜私はとてもたくさんさんの宿題があるので、テレビを見る時間はないだろう。

[23] ⇒ ④ watching → watch

▶ 不定詞は to の後ろに動詞の原形を置かなければなりません。ここでは、watching を watch に訂正すること。なお、この文では tonight の後ろに、so ... that S V (とても...なので S は V する) の that が省略されています。

■問3：日本語に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ，空欄に入るものを選び。

- 24 田中さんの住所を必ず教えてください。

□24 24 25 Mr. Tanaka's address.
① know ② to ③ me ④ fail
⑤ let ⑥ don't

〔小樽女子短大〕

- 25 彼はとても人を裏切るような人物ではない。(1語不要)

He is 26 27.
① person ② the last ③ betray ④ other
⑤ others ⑥ to

〔田中千代学園短大〕

- 26 彼は親切にも町中を案内してくれた。

He 28 29 30 31 the city.
① show ② as ③ me ④ kind
⑤ was ⑥ so ⑦ around ⑧ to

〔東京都立医療技術短大〕

- 27 彼女はドイツ語が話せる。英語は言うまでもない。

She can speak German, 30 31.
① English ② say ③ of ④ nothing
⑤ to

〔共立女子短大〕

- 28 約束があるときはいつも時間より5分前に着くようにしている。(1語不要)

Whenever I have an appointment, I 32 33 ahead of time.
① it ② make ③ to arrive ④ a habit
⑤ five minutes ⑥ arrive

〔田中千代学園短大〕

- 24 Don't fail to let me know Mr. Tanaka's address.

□24 ⇒ ④ □25 ⇒ ③ (6-4-2-5-3-1)
▶ Don't fail to V は「必ずVしてください」という意味の重要表現。また，let ~ V は「～にVさせてやる」という意味の原形不定詞を用いた表現です。let me know (私に知らせる) はよく使う表現なので，熟語として覚えておきましょう。

- 25 He is the last person to betray others.

□25 ⇒ ① □27 ⇒ ③ (2-1-6-3-5) 不要=④ other
▶ ここでの不定詞は形容詞的用法で，person を修飾しています。このlast は「最もしそくない」という意味で使われています。

- 26 He was so kind as to show me around the city.

□26 ⇒ ⑥ □29 ⇒ ⑥ (5-6-4-2-8-1-3-7)
▶ so ... as to V または ... enough to V は，程度を表して「Vするほどに…」という意味です。show me around は「人をあちこち案内する」という意味の熟語表現。

- 27 She can speak German, to say nothing of English.

□27 ⇒ ② □31 ⇒ ③ (5-2-4-3-1)
▶ この不定詞は副詞的用法で，to say nothing of ~ は「～は言うまでもなく」という意味の慣用表現です。この熟語が直後に名詞をとるのに対して，needless to say (言うまでもなく) は全体で副詞の働きをする熟語であるため，後ろに名詞をとらないので区別して覚えましょう。

- 28 Whenever I have an appointment, I make it a habit to arrive five minutes ahead of time.

□28 ⇒ ① □33 ⇒ ③ (2-1-4-3-5) 不要=⑥ arrive
▶ make it a rule to V または make it a habit to V は「いつもVすることになっている」という意味の重要表現。このitは形式目的語のitで，後ろのto Vを指しています。

STAGE-1

(第1～3章)

中間テスト

★このスラッシュで覚えた知識を総チェック★

目標時間
20分

目標得点
17
20点

■第1問 次の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

- 問1 I had to send back the jacket because it did not 1 me.
① meet ② get ③ fit ④ arrange
- 問2 The comic book that Tomoko 2 me was not at all interesting.
① rented ② lent ③ borrowed ④ told
- 問3 I will go home for vacation as soon as I 3 my final exams.
① finish ② will finish ③ am finishing ④ finished
- 問4 When Tom came home, Mary 4 a book in the living room.
① has read ② is reading ③ reads ④ was reading
- 問5 The new building 5 completed by the time you come back to Japan.
① will have been ② has ③ to be ④ has been
- 問6 There is 6 to be plenty of oil off the coast.
① said ② saying ③ says ④ to say
- 問7 I would like the exercise 7 by everybody in an hour.
① to be finished ② finishing ③ finish ④ be finishing
- 問8 Taro was so tired that he 8 down and slept.
① laid ② lied ③ lain ④ lay
- 問9 The doctor told me 9 smoke.
① don't ② no ③ not to ④ stop
- 問10 I ran to the station as fast as I could 10 to miss the train.
① as ② only ③ until ④ before

問11 You should have Mr. Brown 11 your speech before the presentation.
① correct ② to correct ③ to be corrected ④ correcting

問12 The landlord wouldn't allow 12 the doors purple.
① him paint ② to be painted ③ to paint ④ him to paint

問13 Write it down 13 to forget it.
① before ② so as not ③ only ④ just so

問14 The fall in the value of the dollar will enable you 14 more goods.
① export ② will export ③ exporting ④ to export

問15 He was 15 the room by them.
① seen enter ② seeing to enter ③ seen entering ④ entered to see

■第2問 次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

問16 16
This project can't be completed ① in such a short time, so let's ② discuss about ③ it once more ④ from the beginning.

問17 17
Tom ① has left early in the morning and ② hasn't come home yet. Where ③ do you suppose ④ he is?

第3問 次の選択肢を並べかえて英文を完成させ、空欄に入る番号を答えよ。

問18 I'd _____ 18 _____ on Monday.

- ① work
- ② like
- ③ to
- ④ start
- ⑤ you

問19 It is natural _____ 19 _____ in English.

- ① for
- ② make
- ③ Japanese
- ④ to
- ⑤ mistakes

問20 The broken-hearted young man _____ 20 _____ a long journey.

- ① set
- ② to
- ③ on
- ④ out
- ⑤ have
- ⑥ said
- ⑦ is

▶ 解答欄の丸数字を鉛筆でマークしなさい。

解 答 用 紙 (マークシート)												
問題 番号	設問	解答 番号	解 答 欄									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
第1問	問1	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問2	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問3	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問4	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問5	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問6	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問7	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問8	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問9	9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問10	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
第2問	問11	11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問12	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問13	13	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問14	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問15	15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問16	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問17	17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問18	18	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問19	19	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	問20	20	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
第3問												